

物質	MOE	条件	機関、年度	POD
ピロリジンアルカロイド	7406-2521	1.5 から 3 オの赤ちゃん用ハーブティーの平均 - 97.5 パーセンタイ FSA, 2020		雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	4558-1580	1.5 から 3 オのハーブティー * の平均 - 97.5 パーセンタイ	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	21544-5386	19 オ以上のハーブティーの平均 - 97.5 パーセンタイ	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	44,132.0	1.5 から 3 オのルリジサとコンフリーティーの平均 - 97.5 パーセン FSA, 2020		雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	132-33	19 オ以上のルリジサとコンフリーティーの平均 - 97.5 パーセン FSA, 2020		雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	64050-15800	1.5 から 3 オの紅茶の平均 - 97.5 パーセンタイ	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	50426-18231	19 オ以上の紅茶の平均 - 97.5 パーセンタイ	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	57804-18230	19 オ以上の緑茶の平均 - 97.5 パーセンタイ	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	7174	19 オ以上、ウスベニタチアオイカプセル (サプリメント) *	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	5925	1.5 から 3 オ、大麦若葉粉末	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	15800	19 オ以上、大麦若葉粉末	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	154248	19 オ以上、オーガニックハーブカプセル	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	71191	19 オ以上、オーガニックセンシレンカプセル	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	21454	1.5 から 3 オ、マカ粉末	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	56429	19 オ以上、マカ粉末	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	39500-13941	1.5 から 3 オの全種類の蜂蜜の平均 - 97.5 パーセンタイ	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	91154-21454	19 オ以上の全種類の蜂蜜の平均 - 97.5 パーセンタイ	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	62368-21454	1.5 から 3 オのルリジサを除く蜂蜜の平均 - 97.5 パーセンタイ	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	148250-33380	19 オ以上のルリジサを除く蜂蜜の平均 - 97.5 パーセンタイ	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	7406-2693	1.5 から 3 オのルリジサ蜂蜜の平均 - 97.5 パーセンタイ	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジンアルカロイド	16929-4016	19 オ以上のルリジサ蜂蜜の平均 - 97.5 パーセンタイ	FSA, 2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
アフラトキシン B1	2222-199	乳児 (平均の中央値の LB と UB)	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシン B1	625-75	幼児	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシン B1	526-81	その他子ども	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシン B1	1000-134	青少年	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシン B1	1212-186	成人	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシン B1	1538-211	高齢者	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシン B1	1538-193	超高齢者	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシン M1	7018-4938	乳児 (P95 の中央値の LB と UB)	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシン M1	5882-3810	幼児	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシン M1	11429-7692	その他子ども	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシン M1	26667-17391	青少年	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日

アフラトキシ M1	50000-33333	成人	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシ M1	50000-33333	高齢者	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシ M1	50000-33333	超高齢者	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシ M1	36364-26667	妊娠女性	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
アフラトキシ M1	22222-16000	授乳中の女性	EFSA, 2020	雄ラットの肝細胞がんの BMDL10 である 0.4 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	2451-836	乳児（平均の中央値の LB と UB）	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	827-384	幼児	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	940-439	その他子ども	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	1451-786	青少年	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	1963-929	成人	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	2285-1042	高齢者	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	2274-1046	超高齢者	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	2516-1241	妊娠女性	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	2242-1056	授乳中の女性	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	690-333	乳児（P95 の中央値の LB と UB）	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	388-215	幼児	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	469-243	その他子ども	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	722-416	青少年	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	869-457	成人	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	1100-549	高齢者	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	1191-560	超高齢者	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	1165-654	妊娠女性	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	1049-575	授乳中の女性	EFSA, 2020	豚の顕微鏡学的腎病変（非腫瘍性）の BMDL10 である 4.73 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	7513-2562	乳児（平均の中央値の LB と UB）	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	2535-1176	幼児	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	2883-1345	その他子ども	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	4448-2409	青少年	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	6017-2849	成人	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	7005-3194	高齢者	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	6971-3208	超高齢者	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	7713-3806	妊娠女性	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	6872-3237	授乳中の女性	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	2114-1020	乳児（P95 の中央値の LB と UB）	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	1189-659	幼児	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシ M1	1437-746	その他子ども	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日

オクラトキシン	2214-1274	青少年	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシン	2665-1400	成人	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシン	3372-1684	高齢者	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシン	3652-1716	超高齢者	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシン	3571-2006	妊娠女性	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
オクラトキシン	3215-1762	授乳中の女性	EFSA, 2020	ラット腎腫瘍の BMDL10 である 14.5 microg/kg 体重/日
グリシドール	15952-7693	乳児用ミルクを飲む消費者(中央値 - 95th)	BfR,2020	T25 = 10,200 µg glycidol/kg BW and day
グリシドール	18489-7312	ドーナツを食べる子ども (中央値 - 95th)	BfR,2020	T25 = 10,200 µg glycidol/kg BW and day
グリシドール	24130-10833	フレンチフライを外食する子ども (中央値 - 95th)	BfR,2020	T25 = 10,200 µg glycidol/kg BW and day
結合型グリシドール	14386-2819	乳児用ミルクを飲む消費者(中央値 - 95th)	BfR,2020	T25 = 10,200 µg glycidol/kg BW and day
グリシドール	71220-30252	揚げ油を食べる成人(中央値 - 95th)	BfR,2020	T25 = 10,200 µg glycidol/kg BW and day
グリシドール	57485-25920	スイートサンドイッチスプレッドを食べる成人(中央値 - 95th)	BfR,2020	T25 = 10,200 µg glycidol/kg BW and day
グリシドール	60389-27194	クロワッサンやパストリーを食べる成人(中央値 - 95th)	BfR,2020	T25 = 10,200 µg glycidol/kg BW and day
結合型グリシドール	40208-15131	揚げ油を食べる成人(中央値 - 95th)	BfR,2020	T25 = 10,200 µg glycidol/kg BW and day
ピロリジジンアルカロイド	47365-13388	ハーブティーを飲む子ども (6 ヶ月-5 才) (中央値 - 95th)	BfR,2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	59643-11275	ルイボスティーを飲む子ども (6 ヶ月-5 才) (中央値 - 95th)	BfR,2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	47612-11623	ハーブティーを飲む成人 (14-80 才) (中央値 - 95th)	BfR,2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	37436-10098	ルイボスティーを飲む成人 (14-80 才) (中央値 - 95th)	BfR,2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	430909-2155	成人の普通の消費者	BfR,2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	54483 - 272	成人のハーブ摂取量の多い消費者 (95th)	BfR,2020	雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 237 µg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	31-8	乳児平均暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	3-3	乳児 95 パーセンタイル暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	17-6	幼児平均暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	4-2	幼児 95 パーセンタイル暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	22-7	子ども平均暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	7-2	子ども 95 パーセンタイル暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	35-9	青少年平均暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	11-3	青少年 95 パーセンタイル暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	43-12	成人平均暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	13-4	成人 95 パーセンタイル暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	36-14	高齢者平均暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	11-5	高齢者 95 パーセンタイル暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	33-14	超高齢者平均暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
ジャガイモ総グリコアルカロイド	12-5	超高齢者 95 パーセンタイル暴露の最小 - 最大	EFSA,2020	ヒト文献の最小毒性量 1 mg/kg 体重/日
PAH4	24000	フィンランドの 3-6 才の子ども 97.5 パーセンタイル	フィンランド食品局、2020 動物実験の BMDL ₁₀ 0.34mg/kg 体重/日	

PAH(ベンゾ[a]ピレン)	263000	フィンランドの 3-6 才の子ども 97.5 パーセントイル	フィンランド食品局、2020 動物実験の BMDL10 0.07mg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	9000000-46000	成人が蜂蜜から、平均	JECFA, 2020 雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 182 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	36000-6900	成人が蜂蜜から、平均、高摂取群	JECFA, 2020 雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 182 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	18000000-14000	子どもが蜂蜜から、平均	JECFA, 2020 雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 182 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	30000-2200	子どもが蜂蜜から、高摂取群	JECFA, 2020 雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 182 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	140000-1400	成人がお茶から、平均	JECFA, 2020 雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 182 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	18000-700	成人がお茶から、平均、高摂取群	JECFA, 2020 雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 182 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	36000-10000	子どもがお茶から、平均	JECFA, 2020 雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 182 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	6700-2400	子どもがお茶から、高摂取群	JECFA, 2020 雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 182 µg/kg 体重/日
ピロリジジンアルカロイド	140000	成人陰膳	JECFA, 2020 雌ラットのリデリン投与による肝血管肉腫の BMDL10 である 182 µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	17000-1600	幼児平均暴露の最小 - 最大	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	4100-650	幼児 95 パーセントイル暴露の最小 - 最大	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	21000-1900	子ども平均暴露の最小 - 最大	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	6400-800	子ども 95 パーセントイル暴露の最小 - 最大	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	34000-3700	青少年平均暴露の最小 - 最大	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	10000-1500	青少年 95 パーセントイル暴露の最小 - 最大	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	29000-5300	成人平均暴露の最小 - 最大	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	8100-1700	成人 95 パーセントイル暴露の最小 - 最大	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	24000-5900	高齢者平均暴露の最小 - 最大	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	7800-2600	高齢者 95 パーセントイル暴露の最小 - 最大	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	34000-4800	超高齢者平均暴露の最小 - 最大	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	7800-2400	超高齢者 95 パーセントイル暴露の最小 - 最大	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日
ヘキサプロモシクロデカン(HBCDDs)	114-109	母乳摂取量の多い乳児	EFSA, 2021 マウス自発運動に影響する体負荷 0.75 mg/kg 体重に相当する慢性摂取量 2.35µg/kg 体重/日

<https://www.food.gov.uk/sites/default/files/media/document/pyrrolizidine-alkaloids-in-teas-herbal-teas-plant-based-food-supplements-and-honey.pdf>

* :ペパーミント、カモミール、レモンバーム、ルイボス、ハイビスカス、ルリジサを含む混合物

*英国市場調査で 45 種類調べて検出された 5 つのサブリメント

<https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.2903/j.efsa.2020.6040> <https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.2903/j.efsa.2020.6113>

<https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.2903/j.efsa.2020.6113> <https://www.bfr.bund.de/cm/349/possible-health-risks-due-to-high-concentrations-of-3-MCPD-and-glycidyl-fatty-acid-esters-in-certain-foods.pdf> 目安 25000

<https://www.bfr.bund.de/cm/349/updated-risk-assessment-on-levels-of-1-2-unsaturated-pyrrolizidine-alkaloids-pas-in-foods.pdf>

<https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.2903/j.efsa.2020.6222>

注: MOE 10 未満が問題

https://www.ruokavirasto.fi/globalassets/tietoa-meista/julkaisut/julkaisusarjat/tutkimukset/riskiraportit/tutkimuksia_2_2020_pah.pdf

<https://www.who.int/publications/i/item/9789240012677>

<https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.2903/j.efsa.2021.6421>

MOE 24 以上なら懸念なし